

## 「自然広場から： 近隣の自然の変化に目を向ける No.19 梅雨明けを待つ草花 Flowers waiting for the rainy season」

2020年7月25日

梅雨明けが待ち遠しいのは、大雨記録に苦しめられ、散歩もままならない私たち人間だけでなく、自然の変化に従順な草花も同じではないかと想像した。すると、夏を象徴する花・ヒマワリが一面に咲く前に黄色の草花がいくつも咲いて夏へと案内しているようだ、と勝手に思った。さらに、ユリの並んで夏の到来を告げるハマユウ（浜木綿）の花が梅雨の最中に咲いていることに気づいた。梅雨明けはまだかまだかと首を伸ばしている草木も目に入って来た。

とまあ、四季の変化、気温、雨、日照時間など自然のままに芽生え、成長し花を咲かせている植物の営みを戯れに解釈してみた。科学的根拠を全く欠いた説明だが、様々な草木が次々に花を咲かせ、心和ませてくれるので、ついそこに見えざる自然の法(役目)の存在を感じてしまったのです（笑）。

夏よ、来い！ コロナよ、鎮まれ！ 四季を楽しませてくれ！

### 【コロナ情報】

日本の感染者数が2.8万人を超えた(一日約1000人)。東京は一日200人超の感染が続き、グラフを見ると緊急事態宣言が出された頃の勢いだ。原因は何か？第2波か？検査数が増えた事による必然の結果か？10日以前は主な原因が夜の街の感染者で、症状の軽い(あるいは無症状の)若者が目立っていたが、最近では、40代以上の感染が増え、高齢者の数も増えつつある。問題は感染ルート不明が約半数を占める点だ。市中感染が広がっている事を示すこの現実には正直、恐ろしい。政府主導のGO TO 旅行がこの傾向を増幅させなければ良いが・・・。

東京都民なので旅行する予定はないが、政府のコロナ禍対策に不安・不信を感じる。そんな中、外国の対策例(イスラエル、アメリカ・ニューヨーク市)がTV、新聞で取り上げられていた。日本のコロナ対策の現状を客観視、課題を考えるための資料として引用する(添付ファイル参照)。なお、イスラエルの例と私見は次号で述べる。

[http://sengawacx.com/LookNatureNo19\\_2020.jpg](http://sengawacx.com/LookNatureNo19_2020.jpg)